

第48回 東京都町村総合体育大会「ソフトボール競技（男子・女子）」競技  
規定及び注意事項

- 1 競技種目 ソフトボール競技（男子・女子）
- 2 競技方法 トーナメント方式  
7回戦又は70分の時間併用制とし、65分を経過したら新しいイニングに入らない。決勝戦のみ90分とする。4回以降10点差、5回以降7点差が生じた場合はコールドゲームを適用する。同点の場合は抽選とする。ただし、準決勝戦、決勝戦、三位決定戦はタイブレーカー2回を限度として実施し、以降は抽選とする。3位決定戦は行う。
- 3 競技規則 2015年度日本ソフトボール協会オフィシャルルール及び大会特別ルールによる。
- 4 参加資格 東京都（市町村）に在住在勤で、18歳以上の男子及び女子とする。（但し、男子は男子の部、女子は女子の部のみ参加とする。）
- 5 競技構成 監督1名、コーチ2名、選手17名以内とする。監督やコーチが選手を兼ねる場合は、選手登録をする。
- 6 使用球等 大会本部で用意する検定ゴム3号コルク芯ボールを使用する。バットは3号のゴムボール用またはゴム皮兼用ボール用を使用する。
- 7 ベース 原則として固定ベースとし、1塁はダブルベースを使用する。
- 8 服装等 全員同色、同意匠のユニフォームとする。ユニフォームのナンバーは、監督30番、コーチ31番、32番、主将10番、選手は1～99番とする。スコアラーについては私服でのベンチ入りを1名のみ認めるが、私服には、必ず白い布に市名を入れたワッペンを左袖に縫い付け若しくは貼り付けること。
- 9 集合時間 各チームは、天候その他、各グラウンドの進行状況による開始時刻及びグラウンド等の変更や会場設営に備え、試合開始時刻の40分前（グラウンドの開門時間が試合開始時間の40分前に開かないときは、開門時間に従うこと）に必ず選手全員が集合していること。
- 10 打順表 本部で用意する打順表4枚にベンチに入る全選手をフルネームで記入し、自チームの前の試合の3回終了時に本部の確認を受け、速やかに審判主任へ提出する。同日中に引き続き次の試合へ出場する場合は、グラウンドと出場選手に追加・変更がないときに限り当該審判主任への直接提出を可とする。
- 11 ベンチ 組合せ表の若い番号を1塁側とし、本大会に登録されかつ打順表に記載された監督・コーチ・選手以外はベンチに入ることが出来ない。乳幼児等の子供についてもベンチへの入場は禁止とする。但し、スコアラーについては上記の服装等ルールを守った上で1名のみベンチ入りを認める。
- 12 危険防止 金属・セラミックスパイクは使用禁止とする。打者・打者走者・走者・次打者は両耳当てのヘルメットを着用しなければならない。ベースコーチも両耳当てのヘルメットを着用する。捕手はレガース、スロットガード付マスク及びボディプロテクターを着用すること。
- 13 ファウルボールの処理 場外に出たファウルボールは、原則として攻撃側のチームの処理とするが、相手チームも協力する。
- 14 抗議 抗議は監督のみとする。
- 15 降雨日没 降雨または日没等で試合続行が不可能な場合は、4回以降の終了時の得点により決定し、同点の場合は抽選とする。雨天の判断は、各会場の担当主管が行う。
- 16 その他
  - ・車両は各会場所定の駐車場に駐車すること。駐車中の盗難や破損等の責任は大会本部では一切責任をおかない。駐車可能台数については、主管に確認すること。駐車台数に限りがあるので、なるべく相乗り等をして車両数の削減に協力すること。車両台数制限や駐車代金の支払いがある場合にはその指示に従うこと。
  - ・競技場内でのタバコは厳禁とする。また、相手チームの選手への暴言、愚弄する野次は厳禁とする。
  - ・競技中の怪我については、本部等で応急処置を施すが、以降の責任は負わない。
  - ・ゴミは持ち帰り、使用後は選手で各施設で定められた整備・清掃を行った上で帰宅すること。
  - ・立入禁止の場所には立ち入らないこと。施設の使用ルールを守ること。
  - ・勝ち残りチームは次の試合の日程、グラウンド名等を確認してから帰ること。

※他、監督会議で説明があった事について厳守いただきますようよろしくお願い致します。